

はじめに

豊かな社会に育った子供たちの心の問題が注目されている中、「心の教育」の重要性が指摘されています。そして、その推進を図るために、道德の時間の充実が強く求められています。

県教育委員会としては、鹿児島県のよさを生かした「心の教育」を推進し、郷土を愛する心豊かな子供たちを育てることをめざして、道德の時間における指導の参考となる資料として、昨年度の小学校用に続き、今回は、この中学校道德資料「ふるさとの心」を作成しました。

「ふるさとの心」には、身近にある感動的な実話や、郷土に生まれ育ち、文化、生活、福祉等の向上のために尽くした人物などを取り上げ、子供たちが共感をもって学べるようにしてあります。そのことが、おのずから道德性を養うとともに、郷土に対する理解と愛情を培う契機にもなると考えております。

また、各学校における資料の作成や授業づくりの参考となるよう、資料毎の「指導例」を巻末に掲載しました。この「ふるさとの心」が、各学校において有効に活用されとともに、子供たちや地域の実態に応じた創意工夫ある授業が展開され、本県における道德の時間の指導が一層充実したものとなることを期待しています。

平成十二年三月

鹿児島県教育庁

学校教育課長 鈴木敏之